

第44回東京モーターショー2015の出品概要

スズキ株式会社は、2015年10月30日から11月8日まで、東京ビッグサイトで一般公開される第44回東京モーターショー2015（主催：一般社団法人 日本自動車工業会）に次の内容の出品を行う。

今回の東京モーターショーのスズキブース出展テーマは、「SUZUKI NEXT 100」。2020年に創立100周年を迎えるスズキの目指すものづくりを表現し、「次の100年」に向けた取り組みを感じていただくための製品・技術を提案する。

小型車の新ジャンルに挑戦する“コンパクトクロスオーバー「イグニス」”をはじめ、新しい“遊べる軽”の提案「マイティデッキ」、二輪車の楽しみ方を広げる“遊べるスクーター「ハスラー スクート」”など、四輪車・二輪車ともに、驚きや楽しさを提供する参考出品車を複数出品する。また、10月15日発表予定のコンパクトSUV 新型「エスクード」をはじめとする最新の市販車や、新開発エンジンのカットモデルなど各種技術の展示を行う。

主な展示車

四輪車

<参考出品車>

軽自動車の楽しさや使い方の新提案

新コンセプト軽自動車「MIGHTY DECK(マイティデッキ)」

- ・ 様々な使い方に合わせて可動するオープンデッキ（荷台）とキャンバストップを備えた、新しい「遊べる軽」を提案する。
- ・ “都会と自然” “ウチとソト” “オンとオフ” “リラックスとプレイフル” といった、相反する二つのシーンを自由に行き交う「アーバンアウトドア」をコンセプトとした軽自動車。
- ・ 自動で昇降するオープンデッキをはじめ多彩な機能を持ち、毎日の生活から遊びまで、さまざまなライフスタイルに応じて多目的に使用できる。



<参考出品車>

新発想コンパクト3列シートミニバンのコンセプト提案 プライベートラウンジ「Air Triser(エアトライサー)」



- ・ 扱いやすいボディーサイズに、プライベートラウンジをコンセプトとした広い室内空間とこだわりのシートアレンジを備えた、新発想のコンパクト3列シートミニバン。
- ・ 駐車中には、シートを対面に配置するリラックスモードや、コの字型配置のラウンジモードにアレンジが可能。また、Bピラーから天井までつながる大画面モニターでスマートフォンのコンテンツを楽しむことができる。
- ・ 移動中だけでなく、駐車して仲間と過ごす時間も考えた、これまでになかったミニバンを提案する。



<参考出品車>

小型車の新ジャンルに挑戦。オンにもオフにも使える コンパクトクロスオーバー「IGNIS(イグニス)」



- ・ 日常と余暇をクロスオーバーさせるクルマを提案。高めのアイポイントと大きめのロードクリアランスによって、日常で便利に使えるだけでなく、雪道や荒れた道でも安心して走れ、週末にはアウトドアを楽しむことができるコンパクトクロスオーバー。
- ・ 圧倒的な存在感をもつコンパクトなボディーに、シンプルで実用性の高いインテリアを組み合わせ、新ジャンルのクロスオーバータイプの小型車。



<参考出品車>

クロスオーバーの楽しさをさらに広げる 「IGNIS-Trail Concept(イグニス トレイルコンセプト)」



- ・ 都市から自然の中まで、あらゆるシーンで活躍する「イグニス」のフィールドのうち、ラフロードで力強く走るシーンを想定したコンセプトモデル。
- ・ 大径タイヤやアーチモールなど、アウトドア色を強めた特別なコーディネートを施し、コンパクトクロスオーバーである「イグニス」の楽しさをさらに広げる。



<参考出品車>

**ダイナミックでエレガントなスタイリング、最適なパッケージング、
高いパフォーマンスを調和させた**

新しいコンパクトハッチバック「Baleno(バレーノ)」

- ・ デザイン、走行性能、燃費性能、実用性といったコンパクトカーに求められる全ての要素を洗練させ、高次元で実現した新しいBセグメントハッチバック。
- ・ 大人4人と荷物を載せてもゆったりと遠出できる後席居住性・荷室容量を確保している。
- ・ 新開発の1.0L直噴ターボ「ブースタージェットエンジン」と1.2L「デュアルジェットエンジン」をラインアップした。



<10月15日発表予定>

**スズキの4WDの資質を受け継ぎ、進化させた
コンパクトSUV 新型「ESCUDO(エスクード)」**

- ・ ジムニーやエスクードで長きにわたり培ってきた、本格四輪駆動車やSUVとしての資質を受け継ぎながら、幅広いユーザーと時代のニーズに応えるべく、あらゆる面で進化させたコンパクトSUV。
- ・ 初代エスクードから引き継がれてきた、特徴的なデザインと高い走破性を兼ね備えたパッケージングを基本に、先進的な安全技術を採用し、優れた燃費性能も実現した。



<その他の市販車>

登録車 : スイフト/ソリオ/ソリオバンディット/SX4 S-CROSS

軽自動車 : ワゴンR/スペーシア/ハスラー/アルト/アルトラパン/ジムニー/
スペーシア 車いす移動車

四輪車出品予定台数 合計22台

二輪車

<参考出品車>

気軽に乗れて荷物も運べる、ありそうでなかった遊べるスクーター 「HUSTLER SCOOT(ハスラースクート)」

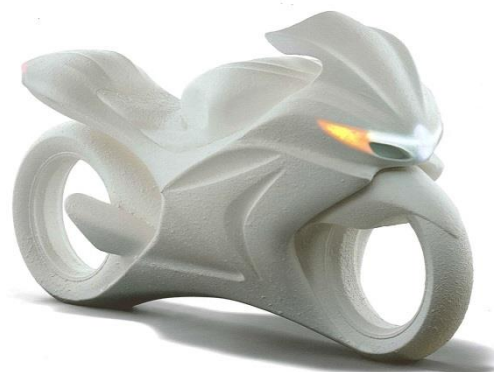
- 気軽に乗れる原付スクーターに、様々な用途に対応できる収納スペースを備えたコンセプトモデル。
- 従来のシート下収納スペースに加え、フットスペースにも、取り外して持ち運べる収納ケースを装備。リヤキャリアや車体横にも荷物を積載できる工夫を施した。
- 収納ケースを外せば、テニスのラケットのような長尺物も積載することができる。
- 「ハスラースクート」とは、四輪車の「ハスラー」と共に遊び心を刺激するモデルという意味を込めており、「ハスラー」のようなポップなカラーリングが遊び心をかき立てる。



<参考出品車>

GSXシリーズの可能性を秘めたコンセプトオブジェ 「concept GSX(コンセプト ジーエスエックス)」

- 扱いやすく力強い特性のスズキの直列4気筒エンジンは、燃費性能、耐久性を高い次元で実現させ、その技術をGSX-R1000やハヤブサ、GSX-S1000など多くの“GSXシリーズモデル”に反映してきた。
- スズキは「GSX」の名を冠する高性能バイクの象徴として、このコンセプトオブジェを提案する。スズキの直列4気筒スポーツモデルの繭まゆのような存在であり、スポーツモデル作りに取り組む姿勢をカタチにしたものである。ここからスズキの新しいスポーツモデルが誕生していく。



<市販車>

隼 (ハヤブサ) / V-^{ストローム}Strom1000 ABS / GSX-S1000 ABS /
GSX-S1000F ABS / GSR250 / DR-Z50

二輪車出品予定台数 合計12台

電動車両

<市販車>

ET4D

電動車両出品予定台数 合計1台